令和３年度第１回千葉市青少年センター運営審議会議事録（議事要旨）

１ 日　時

令和３年７月１３日（火）　１３：００～１４：１０

２ 場　所

千葉市南部青少年センター ２階 講習室

３ 出席者

（委　員）

黒川会長、根本副会長、池田委員、西田委員、松坂委員、小山委員、渡邊委員、岩瀬委員

（事務局）

土肥生涯学習振興課課長補佐兼所長、木澤主催事業主任指導員、小滝主査、中島会計年度任用職員

４ 議　題

（１）副会長の選任について

（２）令和２年度事業報告について

①施設利用状況について

②維持管理業務について

③主催事業について

（３）令和３年度施設運営方針について

（４）令和３年度事業について

（５）その他

５ 議事の概要

（１）副会長の選任について

副会長に根本委員が選任された。

（２）令和２年度事業報告について

令和２年度事業について説明し、承認された。

（３）令和３年度施設運営方針について

令和３年度施設運営方針について説明した。

（４）令和３年度事業について

令和３年度事業について説明した。

（５）その他

１１月末の任期満了に伴う委員の改選について説明した。

議事録の確定方法について承認された。

６　会議経過

（１）副会長の選任について

令和３年３月３１日付けで、迎副会長が定年退職により委員を辞任したことに伴い、副会長の選任を行った結果、根本委員が副会長に選任された。

（２）令和２年度事業報告について

①施設利用状況について、木澤主催事業主任指導員より、資料１～４ページ及びパワーポイントの資料を用いて、施設の概要、新型コロナウイルス感染症対策、施設利用状況について説明した。

②維持管理業務について、中島会計年度任用職員より、資料５ページ、施設の維持・管理業務について説明した。

（黒川会長）

ありがとうございました。ただいま事務局からご説明いただきましたけれども、ご意見ご質問がある委員の方いらっしゃいましたら、ご発言をお願いいたします。

（黒川会長）

どうしても昨年度、制約がかなりあった中での活動となりましたので、利用者減となったのは致し方ない状況だとご説明いただきました。

また、どうしても施設の維持のためには、固定費が掛かるとご説明いただきました。

ご質問は、よろしいでしょうか、

それでは続きまして、議題③の方に移らせていただきまして、主催事業について、事務局よりご説明をお願いいたします。

③主催事業について、木澤主催事業主任指導員より、資料６～８ページ及びパワーポイントの資料を用いて、主催事業の実施状況について説明した。

（黒川会長）

どうもありがとうございました。ただいま、事務局よりご説明いただきました③主催事業につきまして、ご意見ご質問がある方がいらっしゃいましたら、ご発言をお願いいたします。

よろしいでしょうか。

そうしましたら、議題（２）令和２年度事業報告①から③までご説明いただき、ご質問が無かったということで、令和２年度の事業報告につきまして、承認していただける委員の皆様、挙手をお願いいたします。

【全員一致で承認された。】

続きまして、議題（３）令和３年度施設運営方針につきまして、事務局よりお願いいたします。

（３）令和３年度施設運営方針について、（４）令和３年度事業について

木澤主催事業主任指導員より、資料９ページから１０ページ、施設運営方針の説明の後、続けて、資料１１～１２ページ、令和３年度事業について説明した。

中島会計年度任用職員より、資料１３ページ、施設の維持管理予定について説明した。

木澤主催事業主任指導員より、資料１３ページ、その他について説明した。

（黒川会長）

ありがとうございました。ただいま、令和３年度の運営方針、そして主催事業、その他までのところ、一連、ご報告、ご説明いただきました。委員の皆様から、ご質問ご意見ございましたら、ご発言をお願いいたします。

（渡邊委員）

冒頭で事務局からもあったように、昨年度は８月８日から８月２３日までの１６日間しか、千葉市内小中学校夏休みがなかったと記憶しています。今年度は土日も含めますと４０日間を超える夏休みがあります。

しかし、蘇我小の地域では、自治会の夏祭りや子ども会のイベントなど今年度も中止すると連絡が来ています。そのような中で、南部青少年センターでは楽しいイベントが予定されているようですので、学校側からも積極的に呼びかけたいと思います。

キッズ・イングリッシュについて質問します。小学校では３年生から外国語活動が始まるので、その準備段階として２年生を対象としていること、コロナ禍で募集人員を少なくしていることなどは理解しました。その中で、実施回数が昨年度の５回から今年度３回に減らしたのはどうしてでしょうか。

次に、キャリア教育に関する講座について要望します。小学校でも様々な職種の方をお招きして、コロナ禍の中でも可能な限りキャリア教育を実施しています。

南部青少年センターでも、様々な職種の方を講師としてお招きし、その職業の話が聴けるような講座が高学年を対象として、実施できないでしょうか。新型コロナウイルス感染症が収束したら、次年度以降、学習支援という視点から検討していただけないでしょうか。

（黒川会長）

ありがとうございます。今、渡邊委員より２点ご発言がございました。二点に

ついて、事務局よりお願いいたします。

（木澤主催事業主任指導員）

まず、キッズ・イングリッシュを５回から３回に変更した理由についてお答えします。大きな理由の一つとして、５回とも参加できた児童が少なかったところにあります。学校行事との重なり、体調の管理なども含め、毎週土曜日を５回連続ご家庭で確保していただくのは難しいと判断しました。次に「楽しい外国語活動」というねらいは３回でも十分に達成できるのではないかと判断し、講師とも相談し、今年度は３回として実施しています。

次に、キャリア教育についてです。ご要望のような形式を南部青少年センターで実施していくかどうかは、検討すべき点が多くあると思います。

ただし、児童生徒の皆様がセンターに職場訪問していただくとか、私どもが学校に出向いて話をするといった形でのキャリア教育もあると考えます。

（渡邊委員）

ありがとうございました。よくわかりました。キャリア教育の視点として、ここでやるのか、あるいは、学校でやるのかという恰好になるかなと思いますけども、学習支援の中の一つの視点として、キャリア教育を考えていただければなと思います。ありがとうございました。

（黒川会長）

ありがとうございました。他の方でご質問ご意見がある方がいらっしゃいましたら、ご発言をお願いいたします。

（池田委員）

利用者として、先ほど青少年の方が少ないという説明がありましたが、私たちの団体も１０年以上は使わせていただいています。年齢を重ねながらもセンターに魅力があるから、長く使い続けたいという思いがあります。しかし、どうしても利用の年齢層は上がります。若い人たちをいかに吸収していくかが、とても大きな課題だと思います。利用のスタートが小学生、中学生の頃が多いと思いますが、視点を変えて、子育て中のお母さん向けや、幼児向けの事業も取り入れると、お母さんたちから、「こういうところもあるのね。」、「こういう施設があると子供たちがもっと楽しめるのね。」ということになり、その子どもたちが成長した時に、利用したいという思いになるのかなと思いました。

あとは、高齢者の方向けの認知症の講座ということで、それは一回だけだったとのことでしたが、実際ニーズはどうでしょう。もっと実施してほしいとかそういう要望はありましたか。

（木澤主催事業主任指導員）

まず、子育て世代対象の事業についてですが、以前２団体、読み聞かせであるとか、子育ての悩みを相談し合うようなサークルが登録されていました。

しかし、昨年度はやはりコロナの影響か、登録はありませんでした。今年度も現在のところ登録はありません。今後、状況を見ながら、そのような団体にも再度登録、活用を呼び掛けてまいりたいと思います。

また、白旗保育所が近隣にございます。毎年、保護者の皆さんが卒園アルバムを作成する会議でセンターをご利用いただいています。保育所とのつながりは続いていますので、今後、積極的に働きかけてまいりたいと思います。

認知症については、また受講したいたいという声は少なかったですが、応募は多数ありました。それなりのニーズはあると考えられます。ただし、この講座に関しては公民館で実施していただいた方が有意義なのかもしれません。青少年センターには青少年センターならではの事業・講座により力をいれなければいけないし、公民館と似た事業も多少は取り入れないといけないと、毎年悩んでいるところです。貴重なご意見ありがとうございました。

（池田委員）

料理等飲食関係の講座については、新型コロナウイルス感染症の状況によって昨年度は中止になってしまいました。今後も感染症については、なかなか見通しがつけられないと考えます。ただ講座を中止するのではなく、代替のプログラムを用意することはできないでしょうか。

また、サマーチャレンジにたくさんの応募があったとのことですが、回数を増やしていくことはできないのでしょうか。準備は大変だと思いますが、貴重な経験をする子どもたちが増えることは、とても有意義ではないでしょうか。

幅広い世代が交流できる場や機会を設けたいとのことなので、講座の回数を増やしたり、あとはもっと小さい子や、高齢の方を対象にした講座を増やしたり、今出来ることをやっていくと、何年後かに異世代が交流出来るようになった時には、その高齢の方と若者が一緒になってゆめチャレンジを実施するというのも、夢があり、いいのかなと思いました。

（木澤主催事業主任指導員）

ご意見ありがとうございました。ただ単に中止ではなくて、次のプログラムを考えるのは大事なことだと思います。今後、しっかり考えてまいりたいと思います。

しかしながら、講師の確保が大前提になります。サマーチャレンジは例年２０人定員ですが、これを１２人に絞ったため、抽選から外れてしまった人が多く出てしまいました。

講師の報酬など予算も関係するので、年度初めからしっかり考えていかないと

いけないと思います。１１ページをご覧になっていただくとわかりますが、ときめきサタディの４番と５番、「ガス管で万華鏡づくり」と「ねんどと LED ですてきなランプを作ろう」。これが午前と午後の２回実施となっています。例年１回だけですが、２回にして募集定員を増やしている。これはいただいご意見と同じような考えで、実施しています。この考え方で進めていきたいと考えています。

（黒川会長）

ありがとうございます。その他、ご質問ご意見ある委員の方いらっしゃいましたら、ご発言をお願いいたします。

（小山委員）

ここは青少年センターということで、青少年に特化しているから、青少年の利用が本来の目的ということは承知しました。少子高齢化を反映しての、現在の利用人数割合というのはもちろんわかります。それ以外に青少年よりも一般の人の利用が多い理由はあるのでしょうか。物理的・地理的なことを考慮すると、近隣の蘇我中学校区、その他中学校区など、近隣の利用者がやっぱり多いのでしょうか。小学生などは、もしかしたらＨＰとかを見て、保護者が参加を促す場合もあるのかなと思います。「きぼーる」みたいに市の中心にある施設、地域の公民館とかコミュニティセンターのように、それぞれの地域を対象としている施設と比較して、利用の状況はどうなっているかを、教えていただければと思います。

（木澤主催事業主任指導員）

地理的な観点を含めた利用の状況についてお答えします。

講座など実施しましても、やはり中央区からの参加が多く、近いということが大きな理由だと思います。

講座については、市政だよりが主な広報媒体ですけれども、近隣の宮崎小、大森小、蘇我小、大巌寺小については、学校を通してビラを配布しています。やはり歩いて来られる範囲、近くの子が多いというのが現状です。しかし、熱心な保護者の方もいらっしゃって、花見川区、若葉区、美浜区など、遠くの方も申込があります。

施設の利用も、中央区が多数というのが現状であり、やはり地理的な要因が大きいと思います。

青少年の利用・参加がもっと増えなければいけないということはご指摘のとおりです。

青少年センターが建設された４０数年前はＪＦＥ、当時の川崎製鉄を中心として、勤労青年の方がこの地区にたくさん住んでいらっしゃって、いわゆる勤労青年のための福利厚生施設という役割で、本センターが建設されました。

過去の資料をひも解くと、勤労青年の皆様の交流の場や学習の場であり、それ

を目的とした事業、行事がたくさんありました。

そして、当時の勤労青年の方々が、ご高齢になられても長年ご利用いただいている状況がございます。

また、平日は学生の皆さまの利用が難しいことから、どうしても長期休暇や土曜日・日曜日に利用が集中してしまい、利用できない青少年もいます。このような理由からも、青少年の利用が少なくなってしまうと思います。

さらに細かいことを申し上げれば、千葉大学、なかでも演劇関係のホールの利用が多くあります。演劇のみならず、ダンスも需要も拡大してきていますので、高校も含めてホールの利用をアピールできればと考えています。

新型コロナウイルスが収束し、事業が攻めに転じるまで、様々な知恵を絞っていきたいと考えます。

ご質問いただき、ありがとうございました。

（黒川会長）

ありがとうございました。その他、ご質問ご意見おありの委員の方がいらっしゃいましたら、ご発言をお願いいたします。

（黒川会長）

よろしいでしょうか。（３）、（４）ですが、これはそもそも、昨年度の審議会の中で私たち委員が承認をして、この方向性で今年度活動してくださいということになっています。現状報告を、今、事務局の方からいただきました。このため、先ほどの（２）の内容と同じように挙手して承認を得るということは（３）、（４）については手続き上必要ありません。

今、私たちが昨年度中の委員で承認した事業内容について、このように始めてくださっていて、今日、皆さん委員からいただいたご意見を加味して、今年度の活動の中で、変更する点があるようでしたら、また、事務局と相談していく、ということになろうかと思います。

事務局の皆さん、貴重なご意見がたくさん出たと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、続きまして、今、議題に上がって説明いただきました以外の部分について、事務局よりご説明ありましたら、お願いいたします。

（５）その他

事務局より、１１月末の任期満了に伴う委員の改選について説明した。

議事録の確定について、会長に確認のうえ確定してもらうことを承認された。

（黒川会長）

以上、本日、議題に載っている内容については、全て審議、報告いただき終了出来たと思います。皆様、ご協力ありがとうございました。それでは、事務局にお戻しいたします。

（事務局）

第２回運営審議会は、来年３月上旬頃に開催予定であることを各委員へお知らせした。